明石市立江井島中学校　４２回生　第２学年　学年通信
令和元年（２０１９）年１０月１８日　　NO．50

自分さがし　2

文化祭の取り組みも順調です！



･･･と書き出しました。実際、声変わりも終え、響きのよい低音が出せるようになった男子のおかげで、合唱に幅がでてきたように思います。

クラスでも、文化委員を中心に実行委員が積極的に取り組みを進めています。でも、みんなが同じ想いになっているでしょうか。歌が苦手な人が重い気持ちになっていませんか？

昨日の道徳ではそんな「文化祭をめぐって」クラスのなかで起こりうるような、ぴったりな題材を扱いました。いくつか感想を紹介します。

道徳☆教材「最優秀」･･･藍のクラスでは、校内音楽祭で最優秀賞をとるために自主練習をしている。藍の小学校からの友達、恭佳も歌が下手なりに迷惑をかけたくないと努力してきた。だが、賞のためにロパクをするよう言われ、学校に来られなくなる。その話を先生から聞いた藍は、賞にこだわる智美の顔が浮かぶ・・・。

1組

今日の授業では相手の立場で考えることが大切だとわかりました。困っている人に話を聞かないと何があったかわからないし、自分の立場で考えてしまうとだめだから相手のことを考えて行動するようにしていく。

2組

１人の気持ちが突っ走ると１つのチームが崩れていくんだなと思いました。文化祭などは一人ひとりの気持ちが１つにならないといけないんだと思いました。嫌なことがあると相談するのも大事なんだと思います。文化祭まで、あと少しだから気持ちを１つに頑張りたいです。

2組

私は、今私たちがしている文化祭の練習と結びつけて考えることができました。パートリーダーの人はみんなをしっかりとまとめること、きつい言葉で言わない、みんなをその気にさせることが大切だと思いました。そして、できていない人には自分から積極的に話しかけてポジティブに楽しくできるようにしていきたいです。

3組

今回の「最優秀」を読んで藍は恭佳によりそってあげたらいいと思いました。僕たちもみんなで協力して最優秀をとれるようにがんばりたいです。

4組

私たちももうすぐ文化祭なので、今からの私たちの練習のやり方とか、とても参考になると思いました。歌が苦手だからといって、のけものにするのではなく、みんなで協力しあってできた方が達成感もあると思いました。私たちはみんなで協力しあって文化祭をいいものにしたいと思いました。



「先生、期末テストの範囲、どこまでですか？」

中間テストの結果が今日返されたためか、廊下で突然聞かれました。今週末にワークを進めるのだとか。いい心構えです。

また、今週末、東播大会のクラブもあります。がんばってほしいものです。

先週女子テニスは団体戦で準優勝し県大会出場を決めました。

さあ、あなたはどんな週末を過ごしますか？　今しかない時間を大切にしましょう。

市内小中特別支援学級運動会にて

４００m走　男子の部　第４位

１０月１６日、秋晴れの下、明石陸上競技場にて運動会がありました。
そこで、約６０人が一斉にスタートしたなか、
見事４位入賞を果たしたそうです。昨年は５位でした。
１つ順位をあげています。おめでとう！来年こそ、３位入賞に期待ですね。

